6月8日衆議院教育基本法に関する特別委員会議事録

藤木 邦顕（弁護士）

質問者 自民党 小杉隆、臼井日出男、遠藤利明
無所属 保利耕輔
公明党 池坊保子 斉藤鉄夫
民主党 小宮山洋子 中井洽 岩國哲人 山田正彦
共産党 笠井亮
社民党 保坂展人
国民新党 糸川正晃

質疑内容は、全般におよぶが、愛国心問題にふれた議員が多い。自民党、民主党、国民新党議員は軒並み政府案と方向において同じ議論をしている。

小杉委員 少子化対策の内容が教育基本法改正案に含まれている。

猪口担当大臣 地域家族支援、働き方に関する施策、経済的支援を進める。

小杉委員 科学技術教育についてはどうか。

小坂文科大臣 学習指導要領で規定し、理科大好きプランを実施している。教科書に発展的内容を盛り込んでいる。

丸山内閣府政策統括官 研究者養成計画で競争的資金にうける若手研究者を対象とした支援を重点的に実施する。

臼井日出男委員 教育基本法は日本の自主的な策定ではなかった。愛国心の排除、伝統尊重の排除、宗教的情操の涵養の排除、両性の特性を考慮する男女共学の排除のなどの介入があった。

小坂文科大臣 今日の教育基本法に補うべき理念も追加した。

臼井委員 国旗国歌は最も国民の基本的なきまり、これにも対応せず懲戒処分を受けている教師がたくさんいる。

馳副大臣 上司の命にしたがうのは当然。それにしたがわないときは、懲戒処分の対象となる。

臼井委員 愛国心問題で内心の評価はすべきでないと言っているが、学習指導要領には、指導することとなっている。これらの具体的指導に基づいた者をどのように評価していくのか。

銭谷初等中等局長 学習内容への関心意欲態度で総合的に評価する。

臼井委員 義務教育9年を消した理由は何か

小坂文科大臣 義務教育就学年齢の引き下げもあると考える。

遠藤利明委員 ニート、フリーターが増えている職業観を教えるべきだ。

小坂文科大臣 改正案2条2項で職業教育の重要性を明らかにした。

遠藤委員 教職員大学院はどうか

銭谷初等中等局長 中教審で提言し、検討を加えている。

保利耕輔委員 教育勅語を喜んで暗唱した。文部省唱歌というのはきれいだ。愛国心を官房長官はどう考えるのか。

安倍官房長官 愛国心は両親に対する愛ににている。

保利委員 報道機関の皇室に対する敬語の使い方はどうか

安倍官房長官 天皇陛下の存在は日本の長い歴史の中でまさに我々がつづってきたつづれ織りだ。敬語のない報道には違和感を感じる。

保利委員 孫が長崎の26聖人殉教の碑をみて信じることは悪いことなのと聞いた。宗教とか信心は微妙で難しい。

小坂文科大臣 宗教的情操の話は難しいが、情操を身につけていくことが教育の現場での宗教教育ではないかと思う。

保利委員 中等教育について旧制中学がアメリカ式に分解されてしまった。

小坂文科大臣 平成11年度から中高一貫教育が導入された。

保利委員 男女別学を認めてもいいのではないか。

猪口大臣 共学を基本とするが別学を否定する者ではない。

池坊保子委員 個人の尊厳と公共の精神をどのようにとらえるのか。

小坂文科大臣 滅私奉公と言われてきたが、殺すべき私が確立しているからできる。個人の尊厳は重要であるので前文に規定した。

斉藤鉄夫委員 学問の自由は全体にかかるのか

小坂文科大臣 教育全般に関する重要な概念である。

斉藤委員 初等中等教育においても教授の自由があるように読める。

田中生涯学習政策局長 初等中等教育段階では学習指導要領が優先する。

斉藤委員 能力とはエリート主義をあおるのか。

田中局長 すべての国民に教育を受ける者の能力に応じた適切な教育を受ける機会を与えると趣旨である。能力主義や競争主義の教育をめざす趣旨ではない。

斉藤委員 公共の精神とは何か

田中局長 社会全体のために尽くす精神、国や社会のために積極的に行動する精神である。

小宮山委員 政府案に子どもの視点があるか。

小坂文科大臣 表現の手法の違いである。

小宮山委員 民主党案は学習権を明示している。政府案にはない。

小坂文科大臣 3条、4条、6条で意味している。

小宮山委員 幼児教育、高等教育についても無償化をめざすべきである。奨学金などは充実するのか。

小坂文科大臣 学制支援機構などによる奨学金、私立高校助成などを充実させる。

中井委員 官房長官は民主党案をどうみたか。

安倍官房長官 日本を愛する心、伝統文化芸術をとうとび新たな文化を創造する所などは琴線に触れるところがあるが、これらが前文に入っている。政府案は本則で入れている。

中井委員 政府案1条の人格の完成をめざしとあるが、人格の完成とはどういうこと

か。

小坂文科大臣 人格が完成したいと神のことによって到達できない。しかし、それをめざせと言っている。

中井委員 民主党案では、宗教的感性の涵養という。これは、道徳・伝統ではないか。

民主党笠議員 人間の力を超えたさまざまなものへ目を向けることである。

中井委員 塾を教育全体の中でどう位置づけるか。

安倍官房長官 学校外での学習環境の一つで一定の役割を果たしている。

中井委員 教育行政で国民全体に対して直接責任を負うとの文言をなくすと教育委員会を作る論拠がなくなる。

小坂文科大臣 地方自治法、地方教育行政組織法で定めがある。教育委員会を活性化することが必要である。

中井委員 教育基本法から教育振興基本計画へというタイムテーブルはどうか。

小坂文科大臣 基本計画は法が改正された後に直ちに策定に取り組んで、それそって学習指導要領の改訂を半年ぐらいで検討し、できるだけ速やかに教科書に反映する体制をとる。検定も学年別移行ではなく、短縮できないかと思う。

岩國委員 自国防衛を自前でせず国を愛しなさいという現状か。

安倍官房長官 統治機構を愛せといっているのではなく、歴史伝統文化、日本人という相対的価値を愛することである。

岩國委員 日本国憲法は日本國憲法と表記されていた。天皇に言ったのか。にほんど詠むのか、にっぽんと読むのか。

小坂文科大臣 常用漢字表を告示したところから国である。天皇には奏上していない。

安倍官房長官 8世紀にはにほんもにっぽんも両方あった。

岩國委員 教育予算は小泉内閣5年間で増えたのか。

安倍官房長官 在学者1人あたりの額は欧米と遜色ない。

民主党大串議員 OECDデータで日本は3.1%、OECDは4.7%、アメリカは5%となっている。

山田正彦委員 重大事件が起きているが、学校に花を植えて美しい心大切に教育が必要である。

猪口担当大臣 政府案2条4号に「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う」とある。

山田委員 学校給食に地産地消、和食を取り入れると切れる子がなくなった。

小坂文科大臣 地産地消につとめたい。

民主党高井議員 食農住一体の伝統文化を守っていく。

笠井亮委員 国旗国歌法の際に小淵総理は、内心にわたって強制するものではないと強調していた。東京都の教員処分は、教師を人質に取った思想統制ではないか。

小坂文科大臣 国旗国歌法の際の官房長官の見解は変わらない。内心の指導を行っているというような状況があるれば是正しなければならない。

笠井委員 教員の注意の措置で生徒がやむを得ず起立することは思想統制と受け止めるのか。

小坂文科大臣 各教育委員会、各学校の校長において適切に判断する。指導要領に基づい

て適切な方法で行われていけば是認すべきものである。先生がいじめに遭っているような印象を与えるのは、自分の国旗国歌に対する考え方の反映ではないか。

笠井委員 国旗国歌法の審議のときには指導の結果最終的に児童生徒がたとえば卒業式にどういう行動をとるのかあるいは国旗国歌の異議をどのように受け止めらるのかそういうところまで強制されるものではないと言った。都教委はホームルームで卒業式の国家斉唱は内心の自由があるので歌わなくてもよしということについて嚴重注意している。これは問題ではないか。

小坂文科大臣 国旗・国歌について教師はまず客観的に教えるべきである。

笠井委員 国旗国歌法の審議のときに野中官房長官は起立する自由もしない自由もあると言った。

安倍官房長官 国旗国歌法で国民に新たな義務を課するものではない。

笠井委員 国会答弁を伝えたらいけないのか。

安倍官房長官 国旗国歌の重要性を教えずに立っても立たなくてもいいと教えるのは誤解を与える。

保坂委員 フリースクールについてはどう感じるか。

小坂文科大臣 いい指導者に会う機会はたくさん作る方がいい。

保坂委員 複線教育、再チャレンジが必要ではないか。

小坂文科大臣 複線型教育には同意する。

保坂委員 教育の目標の五項目は家庭教育にもかかるのか。

小坂文科大臣 家庭教育や社会教育については教育を行う者にゆだねられている。

糸川委員 政治教育を規定したのはなぜか

小坂文科大臣 政治的涵養は必要だが、特定政党支持反対はいけない。

糸川委員 不当な支配は教育行政だけがすると曲会されている。

小坂文科大臣 法律の定めによる教育行政は不当な支配ではないということを引き続く規定で明確にした。

糸川委員 教育振興基本計画は歓迎すべきである趣旨はなにか。

小坂文科大臣 教育の目的・理念をさらに具体化する施策を総合的体系的に位置づけて実施する。地方公共団体についても計画を策定するように努めるものとした。

教育振興基本計画と学習指導要領の関係について、改正法に基づく教育振興基本計画をつくり、これに基づいて学習指導要領の改訂をすることと、教科書の内容も速やかに改訂するとまでスケジュールを明らかにした。つくる会教科書のような教科書を扶桑社以外にも検定によってつくり出すことになる。教育振興基本計画の役割が明らかになったと思う。

愛国心論議もさることながら、給食を和食にすれば切れる子がなくなったとか、校長が花を植えて学校を建て直したなどという論議がまかり通るのかと思うと読むのも嫌になるほどのレベルであるが、おりませても重要な論議がなされていることがわかる。かつ、不当な支配にせよ、教育振興基本計画にせよ野党から政府の反動的答弁が引き出される状況にも暗澹とするが、これが改悪論の本音かと思うとわかりやすい。